

2. 法定事業の実績と「こども計画」における目標値等について

1) 教育・保育施設及び地域型保育事業の実績と「こども計画」目標値等の内容

《第2期計画》

(単位:人)

区分	令和2年度					
	1号	2号		3号		
		教育利用希望	保育利用希望	0歳	1、2歳	
計画値						
①量の見込み	953	240	845	98	543	
②確保の方策	特定教育・保育施設	559	—	820	117	416
	新制度に移行しない幼稚園	1,035	—	—	—	—
	特定地域型保育事業	—	—	—	24	94
	企業主導型保育施設の地域枠	—	—	2	5	15
	計	1,594	—	822	146	525
差(②-①)	641	—	-23	48	-18	
実績値						
申込児童数	1,077	—	907	92	636	
利用定員数	特定教育・保育施設	559	—	820	117	416
	新制度に移行しない幼稚園	1,035	—	—	—	—
	特定地域型保育事業	—	—	—	24	94
	企業主導型保育施設の地域枠	—	—	2	5	15
	合計	1,594	—	822	146	525
待機児童	—	—	1	0	17	
評価	A	—	B	A	B	

(単位:人)

区分	令和6年度				
	1号	2号		3号	
		教育利用希望	保育利用希望	0歳	1、2歳
	878	—	989	119	638
	748	—	1,032	130	503
	500	—	—	—	—
	—	—	—	24	123
	—	—	2	8	23
	1,248	—	1,034	162	649
	370	—	45	43	11
	819	—	1,075	93	705
	911	—	1,029	130	496
	216	—	—	—	—
	—	—	—	24	123
	—	—	2	8	23
	1,127	—	1,031	162	642
	—	—	0	0	0
	A	—	B	A	B

《こども計画》

(単位:人)

区分	令和11年度					
	1号	2号	3号			
			0歳	1歳	2歳	
量の見込み	799	1,048	91	290	339	
確保の方策	特定教育・保育施設	938	1,123	124	229	284
	特定地域型保育事業等	—	—	24	56	67
	企業主導型保育施設の地域枠	—	—	—	17	19
	計	938	1,123	148	302	370

- A 計画どおり又は計画以上に進んでいる
- B 計画どおり進んでいるが、需要増などの課題がある
- C 計画を下回っている。計画や需要に課題が多い

《評価内容》

区分	令和2年度評価内容
1号 (3~5歳)	「確保の方策」=「利用定員数」となっていることから計画どおり。 「量の見込み」>「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増はなし。 評価:A
2号 (3~5歳)	「確保の方策」=「利用定員数」となっていることから計画どおり。 「量の見込み」<「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増となっている。 評価:B
3号 (0歳)	「確保の方策」=「利用定員数」となっていることから計画どおり。 「量の見込み」>「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増はなし。 評価:A
3号 (1,2歳)	「確保の方策」=「利用定員数」となっていることから計画どおり。 「量の見込み」<「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増となっている。 評価:B

令和6年度評価内容

「確保の方策」に比べ「利用定員数」が少なくなっているが、「量の見込み」>「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増はなし。 評価:A
「確保の方策」と「利用定員数」がほぼ同数となっていることから計画どおり。 「量の見込み」<「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増となっている。 評価:B
「確保の方策」=「利用定員数」となっていることから計画どおり。 「量の見込み」>「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増はなし。 評価:A
「確保の方策」と「利用定員数」がほぼ同数となっていることから計画どおり。 「量の見込み」<「申込児童数」となっていることから計画以上の需要増となっている。 評価:B

こども計画確保の方策

市内2か所の市立認定こども園と13か所の私立認定こども園、1か所の私立幼稚園があり、既存施設において量の見込みに対する供給量を確保します。
市内2か所の市立認定こども園と15か所の私立認定こども園及び保育所で実施します。今後、一定の需要を見込んでいることから、既存施設において量の見込みに対する供給量の確保を予定しています。
市内2か所の市立認定こども園と19か所の私立認定こども園、保育所及び地域型保育事業等で実施します。今後、一定の需要を見込んでいることから既存施設において量の見込みに対する供給量の確保を予定しています。